

130周年、  
新たに



若築建設

2020年3月期

決算説明資料

2020年5月19日

<b>1. 当社グループの概要</b>	<b>P. 3</b>	<b>4. 個別取り組み状況</b>	<b>P.24</b>
当社の概要	P.4	官庁土木分野	P.25
創業130周年（2020年5月23日）	P.5	民間土木・建築分野	P.26
10か年業績推移（連結）	P.6	海外事業の基盤強化	P.27
事業領域	P.7	人員の確保・育成、活力の向上	P.28
<b>2. 2020年3月期の決算概要</b>	<b>P. 8</b>	<b>5. 参考情報</b>	<b>P.29</b>
決算のポイント	P.9	若松港築港関連施設群 選奨土木遺産に認定	P.30
決算サマリー 損益等の状況	P.10	当期の主な完成工事・受注工事	P.31
セグメント別の状況（単体）	P.11		
受注高の推移（単体、セグメント別・官民別）	P.15		
財政状態（連結）	P.16		
キャッシュフローの状況（連結）	P.17		
<b>3. 2021年3月期の業績予想</b>	<b>P.18</b>		
中期経営計画の概要	P.19		
数値目標（単体）と進捗状況	P.20		
2021年3月期 通期業績予想	P.21		
2021年3月期 通期セグメント別予想（単体）	P.22		
株主還元について	P.23		



# 1. 当社グループの概要



# 当社の概要

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
東京本社	東京都目黒区下目黒二丁目23番18号
本店	北九州市若松区浜町一丁目4番7号
創立	1890年（明治23年）5月23日
代表者	代表取締役社長 五百蔵 良平
売上高	連結：1078億円 単体：1047億円（ともに2020年3月期）
従業員数	連結：779名 単体：695名（ともに2020年3月31日現在）
資本金	113億7千4百万円
株式上場	東京証券取引所市場第一部【証券コード 1888】
事業内容	国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業
連結子会社	3社：新総建設株式会社、大丸防音株式会社、株式会社都市空間



◀東京本社



本店  
▼

## 創業からの強みである海上土木を基礎に130年、 国内外で活躍する総合建設業者へ

### 沿革

1890 (明治23) **創業** 北九州若松港の築造・経営を目的に「若松築港会社」として設立

1893 (明治26) 旧商法の施行に伴い社名を「若松築港株式会社」に

1959 (昭和34) **株式店頭公開**

1961 (昭和36) **東証2部 上場**

1962 (昭和37) **東証1部 上場**

1965 (昭和40) 若築建設(株)に商号変更

2020 (令和2) **創業130周年**



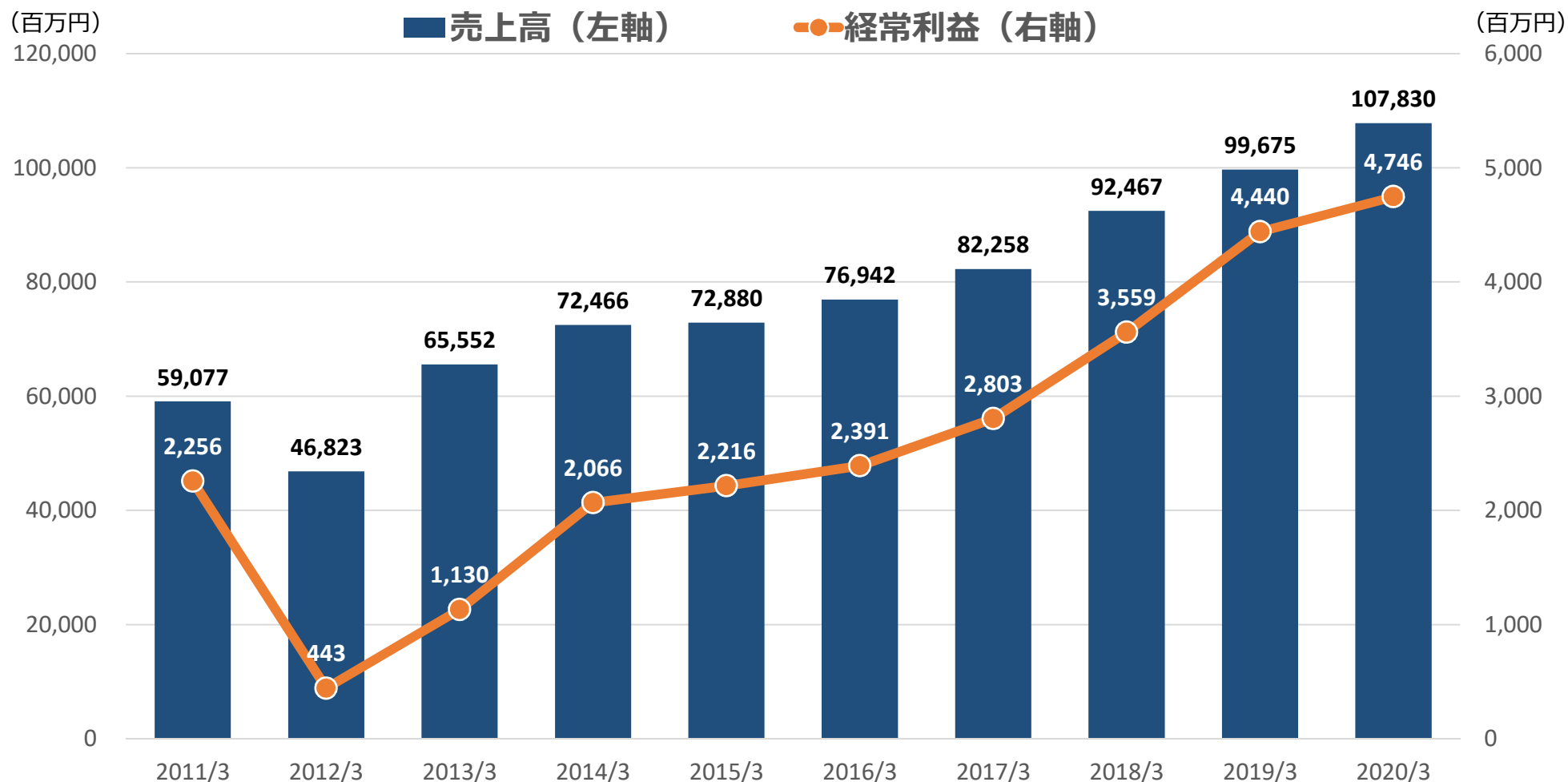
創業当時の社屋

### 企業理念

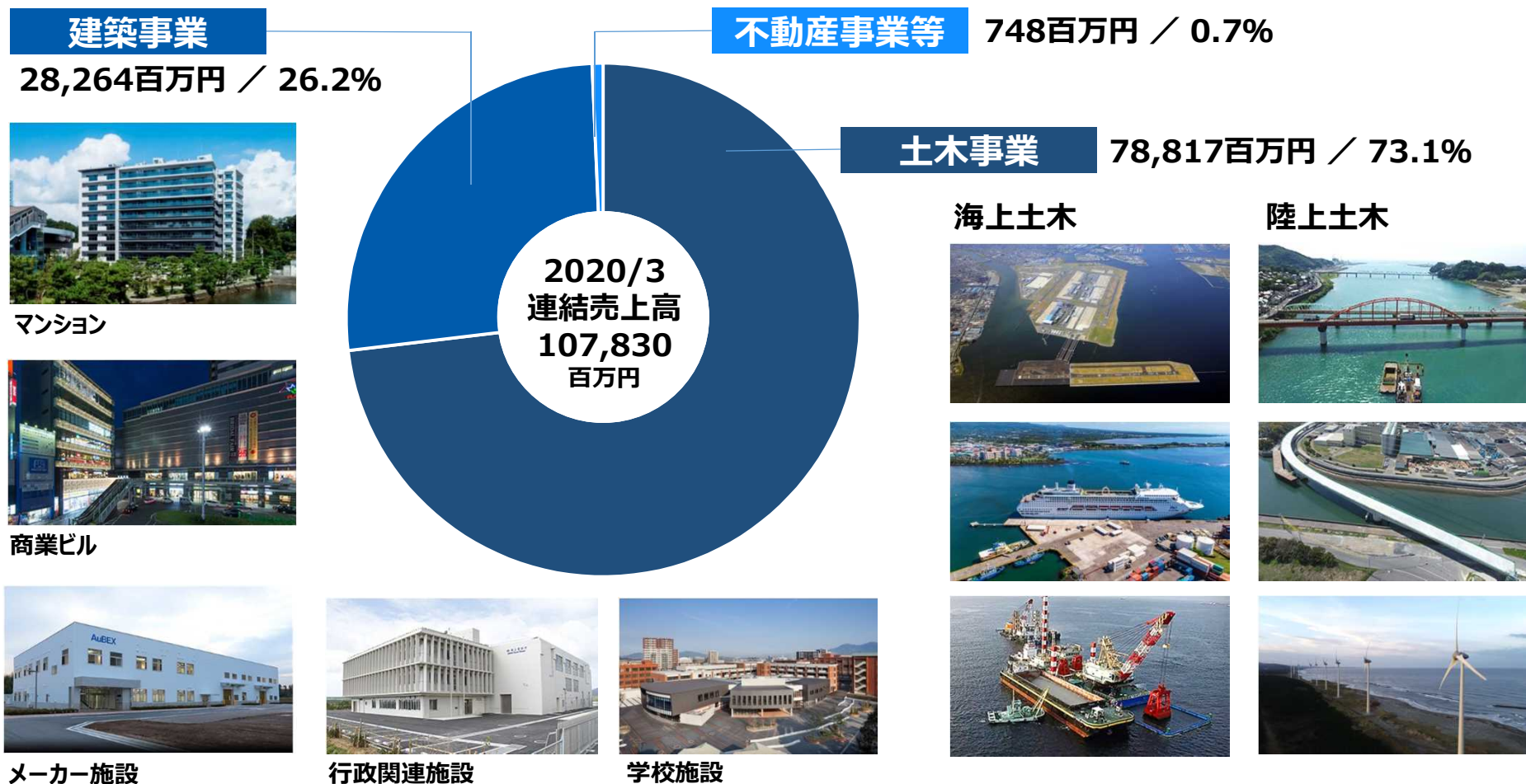
## 内外一致 同心協力

- 当社**初代社長石野寛平**は、若松港の築造事業と運営の道のりを「**若松築港沿革記**」という手記にまとめています。その中で、「内外一致同心協力」せし人々の働きが事業を成功に導いたと述べております。「内外一致」つまり官と民また、地域と地域それぞれの人々が同じ目的に向かって、「同心協力」心を一つにして力を出し合う。これこそがまさに建設事業の基本であります。そして、その心は一世紀を超え、今もなお企業理念として役員一人一人を成長させています。

# 10か年業績推移（連結）



## 海上土木・陸上土木・建築など、総合建設業を国内外で展開





## 2. 2020年3月期の決算概要



- 連結売上高は、手持ち工事の順調な進捗と大型工事の竣工等により、前年度と比べ8.2%増の1,078億円
- 連結営業利益は、売上高増と土木部門の採算向上により、前年度と比べ9.4%増の50億円
- 連結経常利益は、為替差損の影響があったものの、前年比6.9%増の47億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、繰越欠損金控除の終了により税負担が増加し、29億円（前年同期比7.5%減）
- 建設受注高（単体）は、前年度と比べ3.5%増の954億円

# 決算サマリー 損益等の状況

	2019/3		2020/3		前年比 増減率 (%)	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)		
連結	売上高	99,675	—	107,830	—	8.2
	売上総利益	10,206	10.2	10,953	10.2	7.3
	販管費	5,599	5.6	5,914	5.5	5.6
	営業利益	4,607	4.6	5,039	4.7	9.4
	経常利益	4,440	4.5	4,746	4.4	6.9
	親会社株主に帰属する 当期純利益	3,203	3.2	2,963	2.7	△7.5
単体	建設事業受注高	92,190	—	95,417	—	3.5
	売上高	96,284	—	104,783	—	8.8
	売上総利益	9,432	9.8	10,020	9.6	6.2
	販管費	5,275	5.5	5,569	5.3	5.6
	営業利益	4,157	4.3	4,450	4.2	7.1
	経常利益	4,052	4.2	4,212	4.0	3.9
	当期純利益	3,053	3.2	2,798	2.7	△8.3

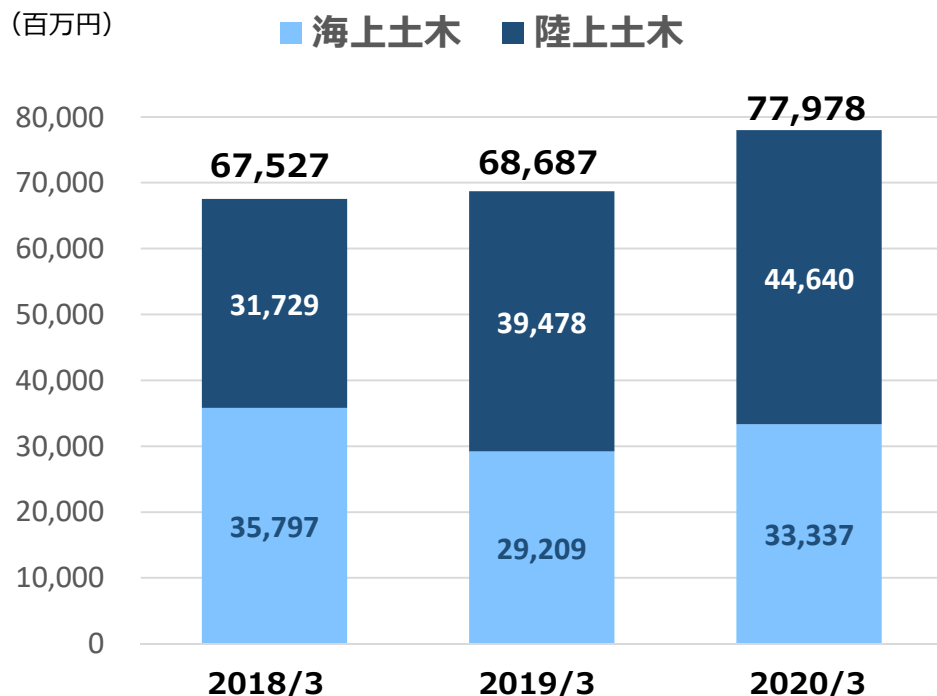
# セグメント別の状況（単体）～ 概要

	【単体】(百万円)	2019/3	2020/3	増減	
				率(%)	ポイント(P)
売上高	<b>完成工事</b>	<b>95,494</b>	<b>104,187</b>	<b>9.1</b>	—
	土木	68,687	77,978	13.5	—
	建築	26,806	26,209	△2.2	—
	<b>不動産事業等</b>	<b>790</b>	<b>595</b>	<b>△24.7</b>	—
	<b>合計</b>	<b>96,284</b>	<b>104,783</b>	<b>8.8</b>	—
売上総利益	<b>完成工事総利益</b>	<b>9,512</b>	<b>9,867</b>	<b>3.7</b>	—
	(%)	<b>10.0</b>	<b>9.5</b>	—	△0.5
	土木	7,130	9,299	30.4	—
	(%)	10.4	11.9	—	△1.5
	建築	2,382	567	△76.2	—
	(%)	8.9	2.2	—	△6.7
	<b>不動産事業等総利益</b>	<b>-80</b>	<b>152</b>	—	—
	(%)	<b>-10.1</b>	<b>25.6</b>	—	<b>35.7</b>
<b>合計</b>	<b>9,432</b>	<b>10,020</b>	<b>6.2</b>	—	
(%)	<b>9.8</b>	<b>9.6</b>	—	△0.2	

※ (%)は、売上に対する比率

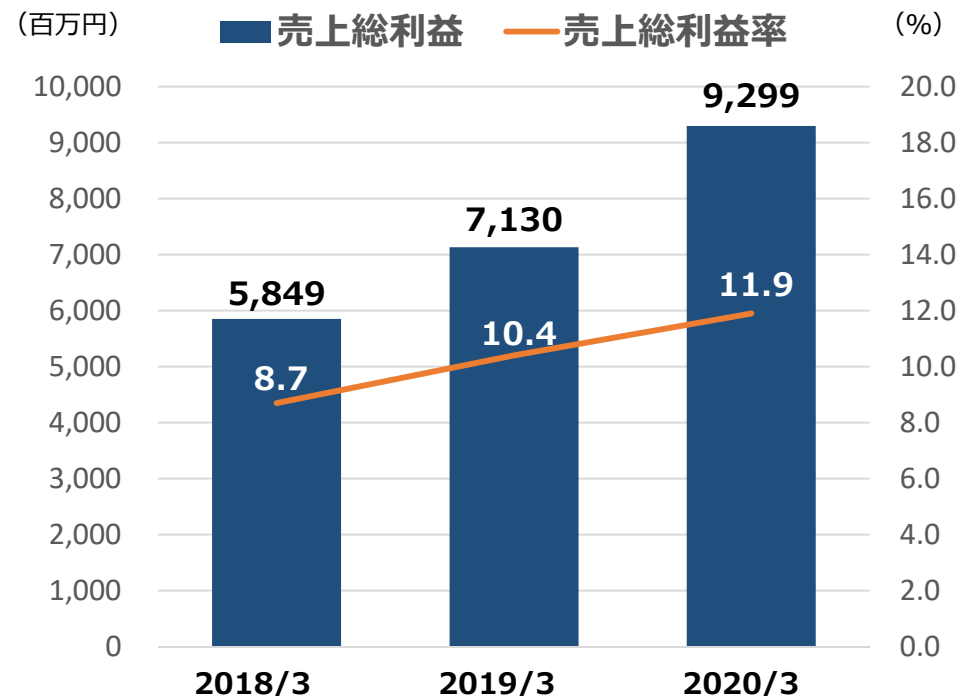
# セグメント別の状況（単体） ① 土木

## 売上高



- 海上土木は、岸壁整備、空港埋立て、再生可能エネルギー関連工事が順調に進捗
- 陸上土木は、高速道路、新幹線、再生可能エネルギー関連工事が順調に進捗

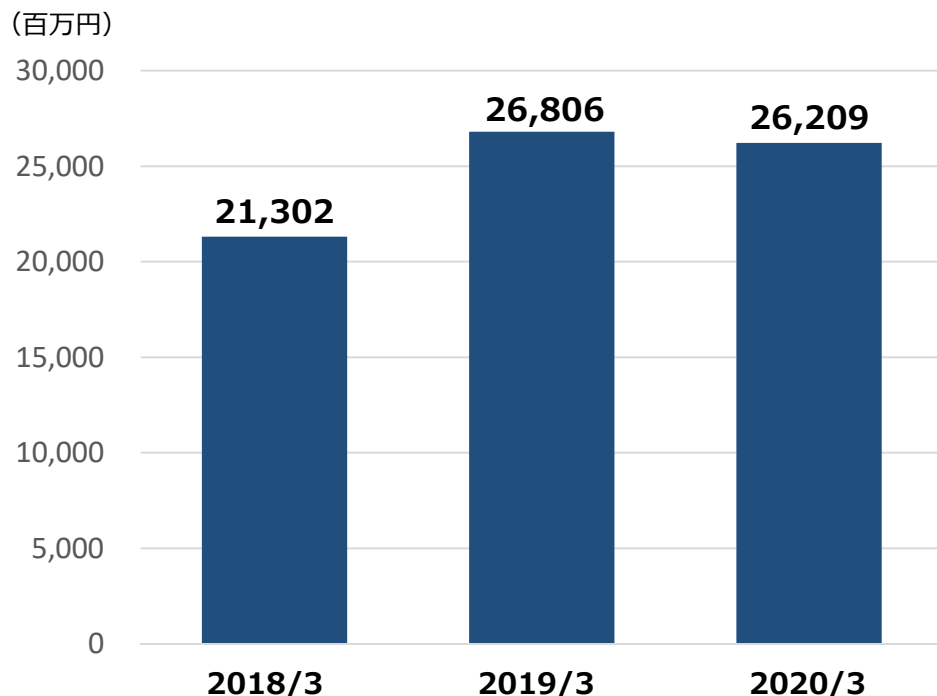
## 売上総利益



- 選別受注の徹底、提案力強化により売上総利益率は前年度10.4%から11.9%へ
- 売上高の増加、利益率向上により、売上総利益額は増加

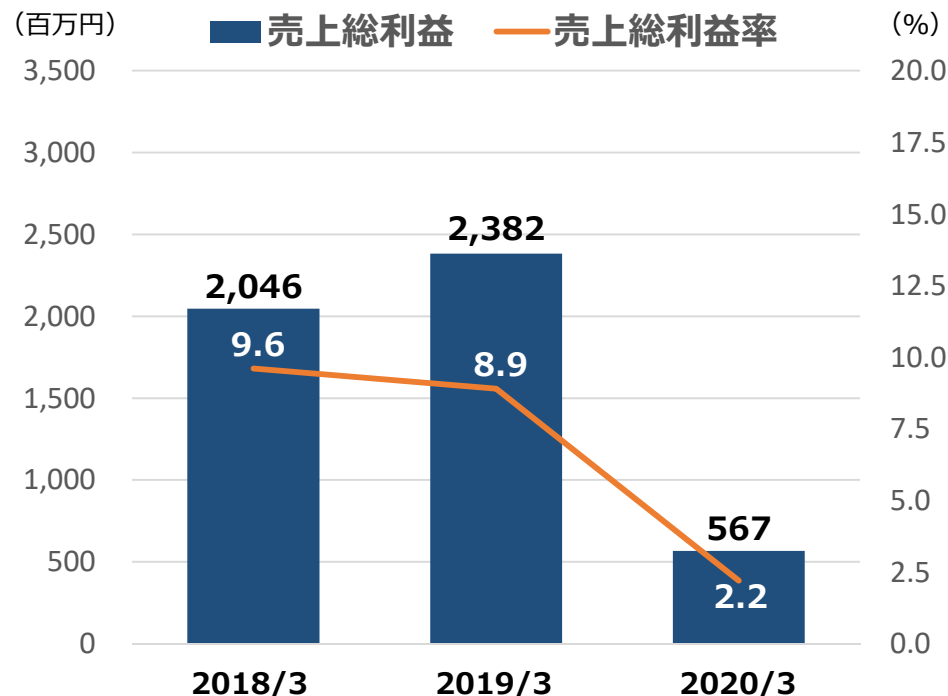
# セグメント別の状況（単体） ② 建築

## 売上高



- 複合ビル、高速道路 S A 休憩施設等の大型工事が竣工

## 売上総利益

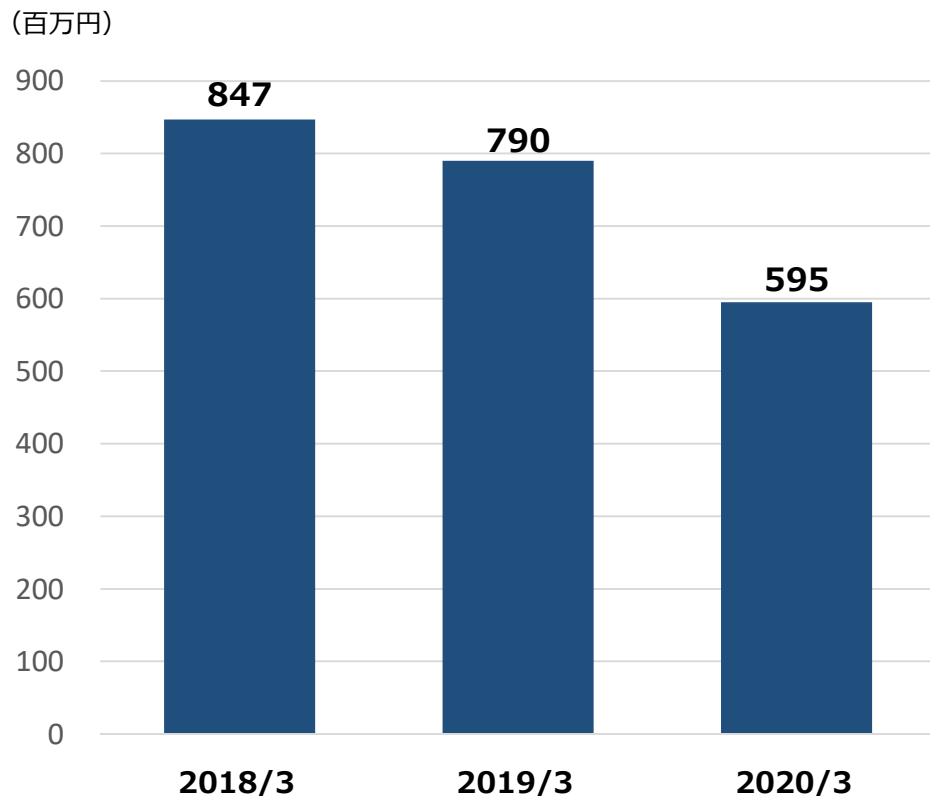


- 特定の大型工事の採算悪化等により売上総利益率は前年度8.9%から2.2%へ

# セグメント別の状況（単体） ③不動産事業等

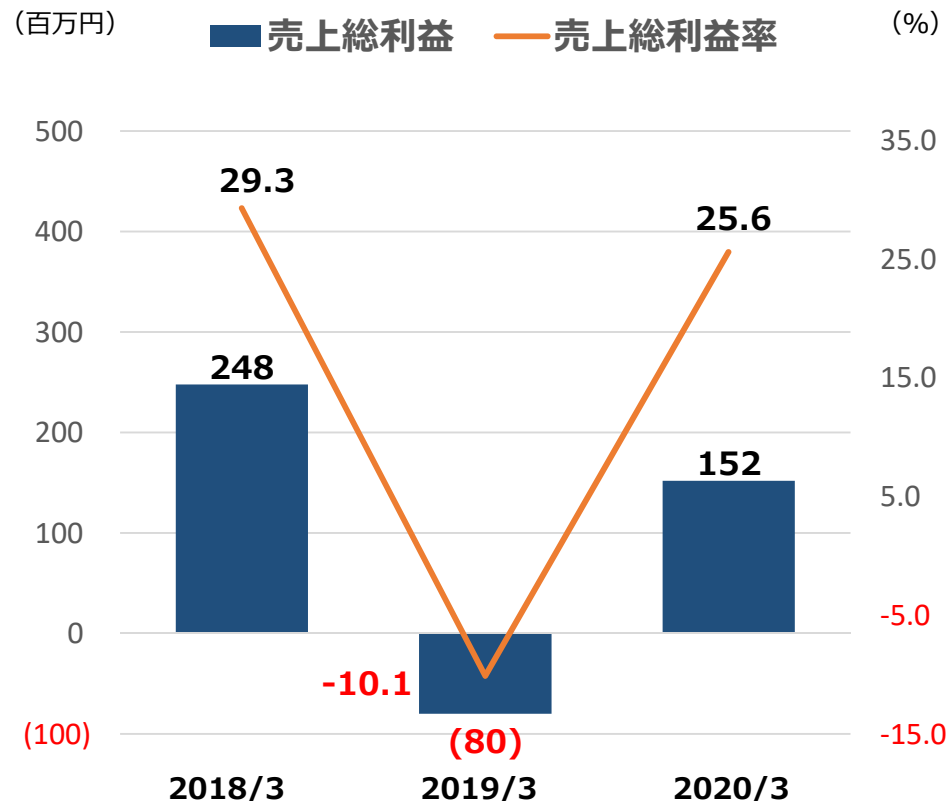


## 売上高



- 戸建て用地の販売収束により、安定収入の賃貸収益が中心に

## 売上総利益



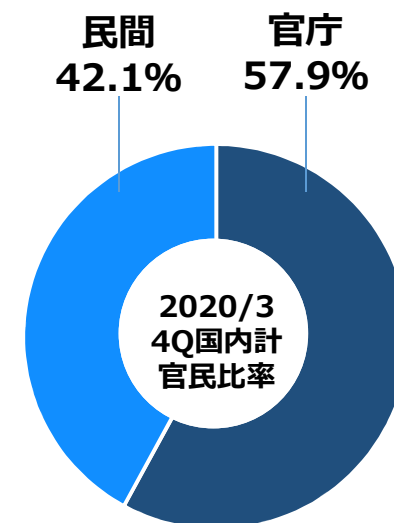
- 戸建て用地の販売収束により、賃貸利益が中心に

# 受注高の推移（単体、セグメント別・官民別）

## 建設受注高

(百万円)

		2018/3	2019/3	2020/3	前年比 増減率 (%)
国内土木	官庁	42,432	33,433	<b>42,909</b>	28.3
	民間	20,350	24,875	<b>18,123</b>	△27.1
	計	62,782	58,308	<b>61,033</b>	4.7
国内建築	官庁	4,627	7,830	<b>6,471</b>	△17.4
	民間	23,101	19,638	<b>17,713</b>	△9.8
	計	27,729	27,468	<b>24,185</b>	△12.0
国内計	官庁	47,059	41,264	<b>49,381</b>	19.7
	民間	43,452	44,513	<b>35,837</b>	△19.5
	計	90,512	85,777	<b>85,218</b>	△0.7
海外		888	6,412	<b>10,198</b>	59.0
合計		91,400	92,190	<b>95,417</b>	3.5



# 財政状態（連結）

## 要約連結貸借対照表

(百万円)

		2019/3末	2020/3末	備考
資産の部	流動資産	69,678	72,387	●完成工事未収入金の増加
	固定資産	11,954	13,481	●収益不動産の取得
	資産合計	81,632	85,869	
負債の部	流動負債	46,396	49,338	●短期借入金増加 ●支払手形・未払金の減少
	固定負債	6,505	5,089	●長期借入金の減少
	負債合計	52,902	54,428	
純資産の部	株主資本	26,788	28,738	
	その他の包括利益累計額	1,014	1,649	
	非支配株主持分	928	1,053	
	純資産合計	28,730	31,441	●親会社株主に帰属する当期純利益増加 ●配当金の支払、自己株式の取得
負債純資産合計		81,632	85,869	



# キャッシュフローの状況（連結）

## 要約連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2019/3	2020/3	主な増減要因
営業活動キャッシュ・フロー	338	△2,517	● 売上債権の増加 ● 仕入債務の減少
投資活動キャッシュ・フロー	78	△2,337	● 投資有価証券の増加、設備投資
財務活動キャッシュ・フロー	110	5,954	● 借入金の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△407	
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	520	692	
現金及び現金同等物の期首残高	13,864	14,384	
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,384	15,077	

### 3. 2021年3月期の業績予想



## 中期経営計画（2019/3期 – 2021/3期）

～2020年 創業130周年を節目に 新たなるステージへ～

国内土木事業・建築事業の更なる強化に、海外事業を加え、バランスのとれた収益体制へ

### 基本方針

**更なる成長へ向け、経営資源の有効活用により  
「収益力の強化」を図る**

### 当社の課題

- 収益力の強化（営業利益率の向上）
- 生産性の向上、人材の育成、働き方改革への対応

### 基本戦略

1. 「品質・安全」を核とした、工事施工高の緩やかな増加
2. 土木部門の更なる強化（海上土木はマリコントップクラスとしての進化）
3. 民間部門の拡充
4. 人員の確保・育成、活力の向上
5. 海外事業の基盤強化
6. 「更なる成長」へ積極的な資金投資
7. 「働き方改革」への取り組み

# 数値目標（単体）と進捗状況

本業での利益は過去最高水準の継続を目指す計画のなか、  
最終年度の利益目標を達成する見通しで推移

## 現・中期経営計画期間

【単体】(億円)	2016/3 実績	2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 計画	2019/3 実績	2020/3 計画	2020/3 実績	2021/3 計画	2021/3 予想
建設受注高	841	900	914	950	921	970	954	1,000	1,000
売上高	734	789	896	900	962	930	1047	960	940
売上総利益	67	71	81	83	94	89	100	93	95
売上総利益率	9.1%	9.1%	9.1%	9.3%	9.8%	9.6%	9.6%	9.7%	10.2%
営業利益	22	25	33	33	41	39	44	42	38
営業利益率	3.1%	3.2%	3.7%	3.7%	4.3%	4.2%	4.2%	4.5%	4.1%
経常利益	21	24	32	32	40	38	42	41	37
純資産	217	236	257	—	281	—	298	300億円以上	315
ROE	9.3%	10.0%	10.9%	9%程度	11.3%	9%程度	9.7%	9%程度	8.1%
配当性向	20.0%	22.7%	22.7%	20%以上	23.3%	20%以上	27.5%	25%以上	28.1%

# 2021年3月期 通期業績予想



	2020/3実績		2021/3予想		前年比 増減率 (%)	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)		
連結	売上高	107,830	—	97,000	—	△10.0
	営業利益	5,039	4.7	4,200	4.3	△16.7
	経常利益	4,746	4.4	3,950	4.1	△16.8
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,963	2.7	2,600	2.7	△12.3
単体	建設事業受注高	95,417	—	100,000	—	4.8
	売上高	104,783	—	94,000	—	△10.3
	営業利益	4,450	4.2	3,890	4.1	△12.6
	経常利益	4,212	4.0	3,700	3.9	△12.2
	当期純利益	2,798	2.7	2,500	2.7	△10.7

# 2021年3月期 通期セグメント別予想（単体）

【単体】(百万円)	2020/3 実績	2021/3 予想	増減	
			率(%)	ポイント(P)
<b>売上高</b>				
<b>完成工事</b>	<b>104,187</b>	<b>93,200</b>	<b>△10.5</b>	<b>-</b>
土木	77,978	72,700	△6.8	-
建築	26,209	20,500	△21.8	-
<b>不動産事業等</b>	<b>595</b>	<b>800</b>	<b>34.4</b>	<b>-</b>
<b>合計</b>	<b>104,783</b>	<b>94,000</b>	<b>△10.3</b>	<b>-</b>
<b>売上総利益</b>				
<b>完成工事総利益</b>	<b>9,867</b>	<b>9,280</b>	<b>△6.0</b>	<b>-</b>
(%)	<b>9.5</b>	<b>10.0</b>	<b>-</b>	<b>0.5</b>
土木	9,299	7,920	△14.8	-
(%)	11.9	10.9	-	△10.0
建築	567	1,360	139.5	-
(%)	2.2	6.6	-	4.4
<b>不動産事業等総利益</b>	<b>152</b>	<b>300</b>	<b>96.8</b>	<b>-</b>
(%)	<b>25.6</b>	<b>37.5</b>	<b>-</b>	<b>11.9</b>
<b>合計</b>	<b>10,020</b>	<b>9,580</b>	<b>△4.4</b>	<b>-</b>
(%)	<b>9.6</b>	<b>10.2</b>	<b>-</b>	<b>0.6</b>

※ (%)は、売上に対する比率

# 株主還元について

## 利益配分 基本方針

将来に備え企業体質の強化を図るとともに、  
会社を取り巻く環境を勘案しつつ、

**単体配当性向を20%以上**とし、

業績に応じた利益還元をめるとともに

長期安定的な配当を継続する

※創業130周年の2021/3期は、25%以上を  
目指す

## 2020/3 配当予定

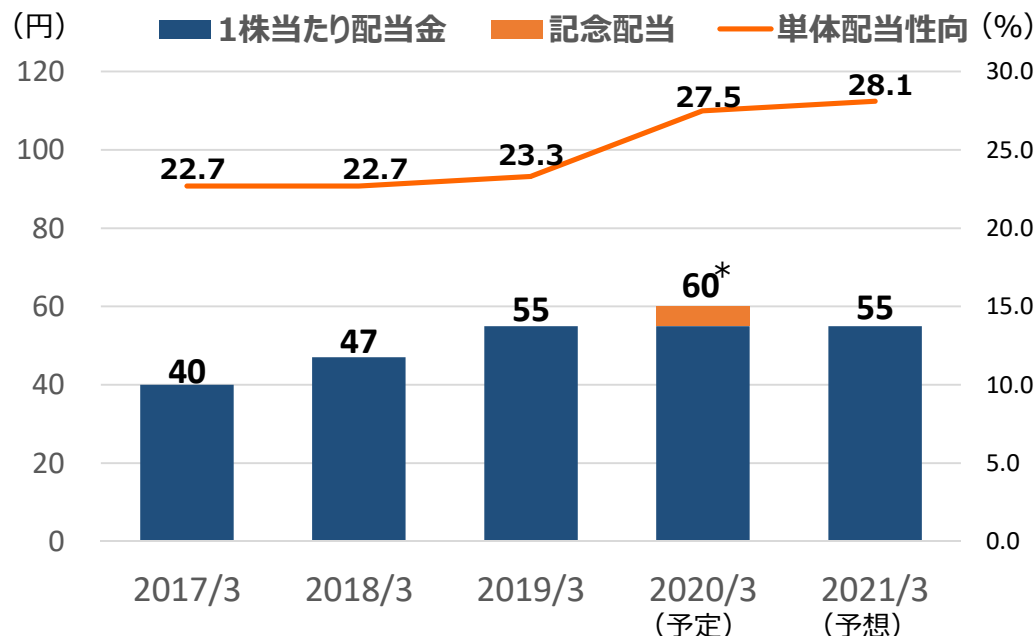
(1株当たり)

**60円**

普通配当 55円

+

創業130周年記念配当 5円



\*：配当金の内訳：普通配当55.00円、創業130周年記念配当5.00円

注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。  
グラフは、この株式併合が2016/3期に行われたものと仮定して遡及修正。

## <自己株式取得>

- 2020年3月期に取得した株式の総数202,300株  
(株式の取得価額の総額299,901,700円)

## 4. 個別取り組み状況

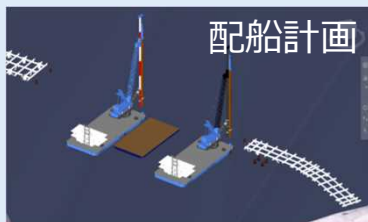
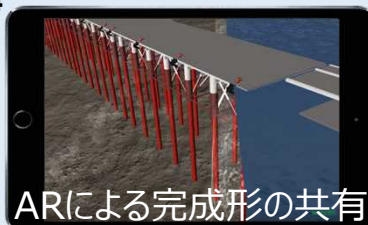




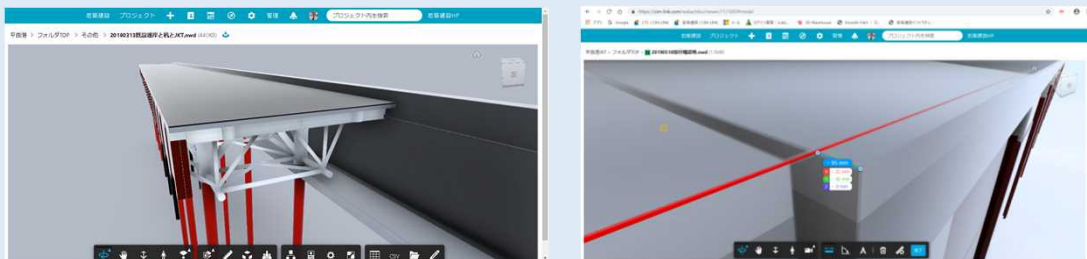
## 海上土木

### “港湾CIMの拡充”

- 佐世保港(浦頭地区)岸壁(-10m)築造工事



- 平良港(漲水地区)岸壁(-10m)(防波堤外)築造工事



## 陸上土木

### “大規模建設事業への参画”

- 九州新幹線(西九州ルート)事業



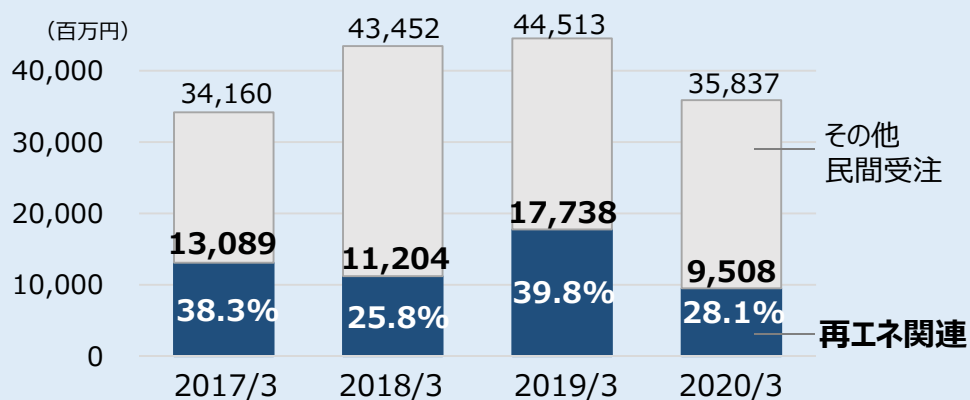
- 湯浅御坊道路4車線化事業



## 民間土木

### “再生可能エネルギー関連への注力”

#### ● 再生可能エネルギー関連受注額の推移



#### ● 由利本荘風力発電所



#### ● にかほ第二風力発電所



## 建築分野

### “多分野への展開”

#### ● 東北道蓮田SA休憩施設



#### ● 豊前バイオマス発電所



#### ● みやこ犀川小学校校舎



## 海外事業の基盤強化

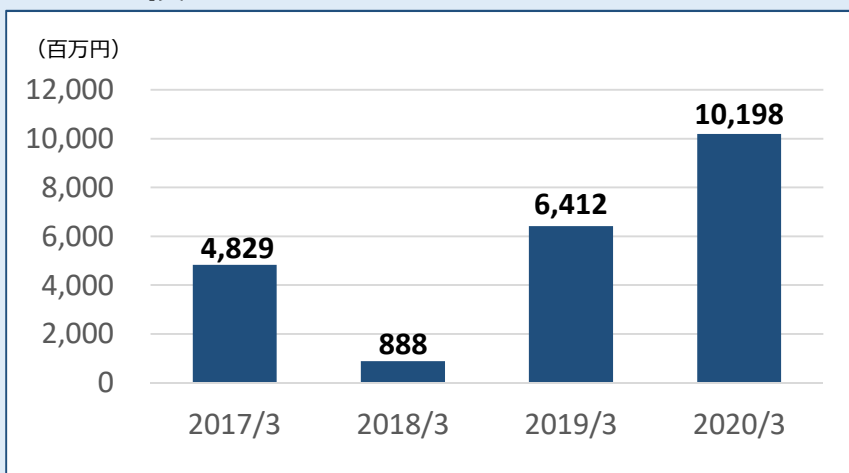
### ● 現海外事業所：5拠点

スリランカ（コロンボ事務所）／インドネシア（ジャカルタ事務所）  
／ベトナム（ハノイ事務所）／ラオス（ビエンチャン事務所）  
／モルディブ（マレ事務所）

### ● 主な施工実績のある国：9か国

スリランカ／インドネシア／東ティモール／ラオス／モルディブ  
／サモア／ニカラグア／ミャンマー／パラオ

### ● 受注実績



### 【基盤強化】

#### 地域

東南アジアを中心に

#### 営業案件

ODA案件、民間案件

#### 取り組み工種

海上土木、陸上土木、建築

#### 海外要員の育成

外国人新卒技術者の採用実施  
国内技術者のジョブローテーション



## 女性活躍推進

### ●「第4回けんせつ小町活躍推進表彰 特別賞（日建連）」受賞

女性現場技術者が妊娠しましたが、本人の働く意志・希望により、当社がサポート体制を整え、発注者のご理解・ご支援を頂き、現場代理人の職務を継続し工事完成まで従事しました。



### ●女性技術者現場見学会の実施



土木・建築の両方の現場を見学し、それぞれの現場の良いところを学ぶとともに、横の繋がりを築くきっかけとなっています。

### ●職場環境の整備



現場では、女性用トイレや更衣室の設置をはじめ、女性用作業着やヘルメットなど、女性技術者が働きやすい環境整備が進んでいます。

## 5. 参考情報



# 当社建設の施設群が選奨土木遺産に認定

## 選奨土木遺産とは

土木学会の選奨土木遺産認定制度は、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年度に創設されました。

認定の対象は、近代（幕末から昭和20年代）に完成した土木構造物で、年間20件程度が選ばれています。

## 若松港築港関連施設群

当社設立のきっかけとなった若松港築港事業において、明治から大正期に当社が建設した防波堤、護岸、物揚場等の構造物が、日本の近代化を支えた歴史的価値のある土木施設として認められました。



# 当期の主な完成工事・受注工事

## 2020年3月期の主な完成工事

発注者	工事名	工事場所
内閣府沖縄総合事務局	那覇空港滑走路増設1工区埋立工事(2次)	沖縄県
国土交通省関東地方整備局	横浜港南本牧地区岸壁(-18m)(耐震)上部等工事	神奈川県
国土交通省九州地方整備局	平成30年度佐世保港(浦頭地区)岸壁(-10m)築造工事	長崎県
東日本高速道路株式会社	東北自動車道 蓮田SA(新上り線)休憩施設新築工事	埼玉県
西日本鉄道株式会社	(仮称)香椎照葉5丁目計画商業賃貸シニア棟新築工事	福岡県

## 2020年3月期の主な受注工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省関東地方整備局	川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事	神奈川県
国土交通省中部地方整備局	令和元年度富士海岸沼川新放水路建設工事	静岡県
兵庫県神戸市	平成30年災 神戸港沖災害復旧工事(その1)	兵庫県
(株)市民風力発電・(株)CSS	古平町風力発電所建設工事	北海道
学校法人福岡大学	福岡大学自修寮(仮称)新築工事	福岡県



# 当期の主な完成工事 1/3

## 国内土木 ① 海上土木

岸壁改良



航路浚渫



コンテナヤード



臨港道路





# 当期の主な完成工事 2/3

## 国内土木 ② 陸上土木

下部工



太陽光発電



風力発電



バイオマス発電所





# 当期の主な完成工事 3/3

## 国内建築

発  
電  
所



集  
合  
住  
宅



工  
場  
兼  
店  
舗



複  
合  
施  
設



## 問合せ先

### 若築建設株式会社

東京本社 経営企画部

TEL:03-3492-0308

FAX:03-3492-1785

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-18

#### 【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある点にご留意ください。